

ひろば大代

NO.330

大代公民館

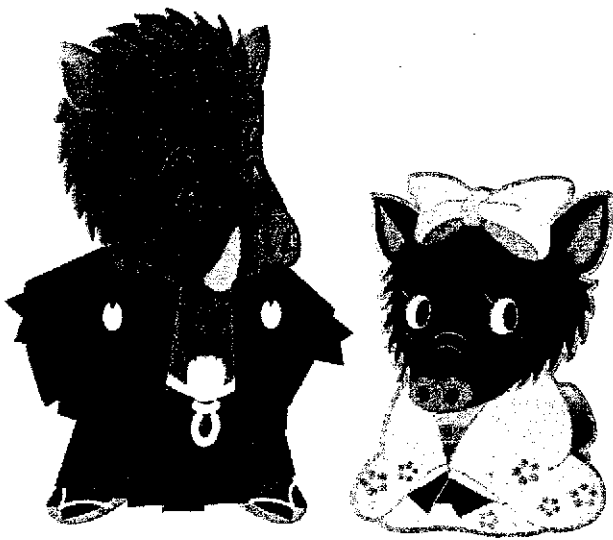
H19.1.11

謹んで

初春のお慶びを

申上げます

平成十九年 元旦



「平成十九年

明けまして

おめでとうございます」

館長 竹島 修



平成十九年の輝かしい新年を皆様が
たには、つつがなくお迎えの事とお喜
び申し上げます。

旧年中は、公民館活動にご理解と御
協力を賜り有難うございました。

今年も、町民の方が気軽に利用でき、
立ち寄っていただける場所として、ま
た、地域への情報発信の拠点となるよ
う職員、関係者一同頑張っていきたい
と思っております。

今年も公民館をご利用下さい。

皆様のご多幸とご健康を祈念いたし
まして新年のご挨拶とさせていただきます。
今年もよろしくお願い致します。

初春のお喜びを申し上げます。

大代高山会

会長 木村幸司

新年明けましておめでとうございま
す。皆様、お健やかに新年をお迎え
になられましたこと、お喜び申し上げ
ます。

平素は、高山会事業に格別なるご理
解とご協力を賜り、心よりお礼申し上
げます。

お蔭様で、昨年も地域に誇れる活動
が出来ましたこと、あわせましてお礼
申し上げます。

さて、私事ではございますが、昨年
10月に鹿児島県にございました柳谷と
いう集落へ出かけてまいりました。

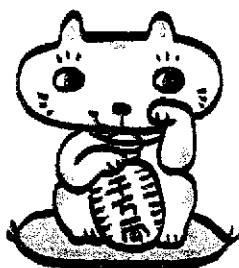
約300人が暮らす、高齢化率34%の小
さな集落でございますが、行政に頼ら
ない地域おこしをテーマに、自主財源
を集落民全体で捻出している集落で、
サツマイモの栽培や、土着菌の販売等
で年間700万円の売上げを生み出し、そ
の収益を集落の運営に活用しています。
補助金に頼らず、各戸からも経費を

拠出させない代わりに、汗してもらおう。集落民には年齢に応じた旬の労働出番が企画されており、労働奉仕が集落の最大の財産になっている。ひとりのリーダーを中心に、集落民すべてが一丸となって取り組んでいらつしやいました。

リーダーの力量(此処で言うリーダーは高山会の会長です)は今後の課題としても、集落民が一同に、同じ希望に向けて心を共にするということは、故郷を次の世代に引き継ぐために、私たちが一番大事にしなくてはならない事柄です。

故郷の鎧なまがひである子供たちのためにも、私たちがやっておかないといけない事、その事を改めて考え直しながら、今年も高山会の事業を展開して行こうと思えます。

本年も、昨年以上にご協力賜りますようお願い申し上げます。



感謝で始まる新年

東京石見高山会

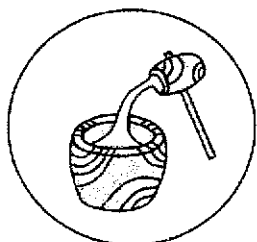
会長 今田 潔

大代町の皆様明けましておめでとう御座います。今年も宜しく御願ひ致します。

ここ数年毎年「今年もこうして元気に新年を迎えることが出来るのも自分の周囲のすべての皆様のお陰」と心から感謝すること新しい年を迎えるようになりました。

特に今年には昨年十二月の誕生日で七十歳の古希を迎え、我ながら大きな病気もしないで良く此処

まで生きて来られたものと改めてこの素晴らしい命・人生を頂いたことに深く感謝した次第です。



昨年十一月に開催した東京石見高山会には郷里大代町から木村市議をはじめ有志の方々に遠路わざわざご参加を頂き久し振りの餅つきを楽しみ、美味しい蓬餅よもぎもちに舌鼓を打ちました



懇親会では故郷の最新情報を伺いながら思い出話にも花が咲き、ご出席いただいた関西高山会の方々を含め交流・懇親を深めることが出来ました。

また今回ご出演をお願いした松江の田中さんご一家の懐かしい唱歌の数々や演奏そして奥様の日本舞踊に酔いしれ、盛会裏に総会を終了することが出来ました。これも偏に大代町の皆様のご協力のお陰とあらためて感謝し心から御礼申し上げます。

さて小生、昨年十二月三日〜十日まで一昨年に続いてF E C（民間外交推進協会）のインド経済事情等調査団の副団長として二度目の訪印をしました。今回は首都デリーから、今やバンガロールに次ぐI T産業の拠点として大躍進をしているハイデラバードと南部の港湾都市チェンナイ（旧名マドラス）を訪問しました。

建設ブームの様相を呈しているハイデラバードはこれまで訪れた他の都市に比べ町全体が綺麗で活気があり、走っている車も新しく豊かな層が多いように見受けられました。

港町チェンナイは英国統治時代のストック（社会資本投資）もあり、ショッピングセンターの繁栄の仕方を見ても、まだまだ全体として貧富の差が大きいとは言え、ここでも着実に中間層以上の富裕層が増えて来ているように思われました。

今回の訪問でインドが将来アジアの大国のひとつに成長するのは確実との思いをより強くし、日本は国も民間も共にインドとの関係強化を図ること無しで今後の世界戦略を語ることは出来

ないとの思いを強くしたことでした。

連邦政府、州政府関係者との会談で将来の国の発展は人材の育成に懸かっており教育分野に力を入れるとの発言を聴き、日本の国の現状を鑑みて大いに考えさせられました。

やはり企業も地域社会も国も人が基本であり、単に知識の詰め込みだけでなく一人ひとりが感謝と、お蔭さまの気持ちを持つような徳育の必要性を痛感致しました。

自分自身まずは、今年も「感謝で始まり感謝で終わる一年」にしたいものと考え次第です。

最後になりましたが、大代町の皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。



新春によせて

関西高山会

会長 木村滋男

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎える事とお慶び申し上げます。

私は、この度、田中公道前会長の後を受けて関西高山会の会長を仰せつかりました。人格、見識共に優れた歴代会長の後を引き継ぐには甚だ力不足ではございますが、会員の皆様、並びに地元大代町の皆様のご協力、ご支援を頂いて、関西高山会の維持、発展のために力いっぱい頑張りたいと思っておりますので何卒よろしくお願い致します。さて関西高山会も今年は十六回目を迎える新たな出発点の年となります。

今年の総会は六月十日（日）にホテルアウイーナ大阪での開催を予定しております。今年の総会も楽しい企画になりますよう幹事一同心をこめて頑張りますのでよろしくお願い致します。

故郷の同じ山、同じ川を見て育った私達。道路や町並み、人は時と共に移

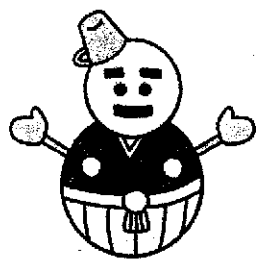
ろい変わりますが、自然のたたずまいはいつまでも私達の心に焼きついて離れません。

毎年総会に開催される故郷物産展は、私達に幼い日の味覚を思い出させてくれるだけでなく、その味覚によって、故郷を共有していることも実感します。

今年から「団塊の世代」（昭和22年〜24年生まれ）の人々が六十歳を迎える年になります。これからの関西高山会はこの世代の皆さんが中心になってまいります。知人友人に声をかけていただき、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

末筆になりますが、皆様が健康で明るく楽しい年でありますよう祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

「年頭(つ)挨拶」



連合自治会

会長 渡 和基

柔らかな陽射しに山茶花さざんかが映え、南天の朱と濃い緑も際立っています。仰ぎ見る高山は広がる青空のもとまだ雪景色ではありません。

子供時代の冬の山陰の風情とは異なっており、まずは大代町の平成十八年の年末が穏やかに過ぎてゆき除夜の鐘の響くもと平成十九年が静かに始まりました。

それも、大代駐在所の三島氏と大代町消防団の皆さんの弛まぬ地道な活動の成果で、安心と安全を守ってもらっているお蔭と大変感謝しております。

「一隅を照らす」という言葉がありますが、ABCニュースでも「自分の持っているもので、出来ることから始める」というタイトルでいくつかの事例を紹介していました。

例えば、ある学校では、よく理解していない生徒が多い原因を調べたら、空腹の為という事が判り、すぐに対応をとって、生徒達が帰るとき食べ物セットしたものを配っていたところ、皆の理解度が向上し成績が良くなり、そ

れが各地で実践されるようになったという内容でした。

表現は違っても洋の東西、同じようなことを伝えていると感じました。「云うは易く、行うは難し」ですが、安倍総理の就任の言葉「美しい国日本」を念頭におき、新年度からはじまる大田市の町づくり改革に対応し、大代町の一員として美しい大代町を目指して一歩一歩進んで行きたいと思えます。

最後に、大代つ子発表会のフィナーレで、全校生で合唱してくれた歌を皆様にお伝えしたいと思えます。

ふるさとのみどり

- 1 美しい 大代の緑
鳥が鳴いている山
虫が鳴いている原
豊かなゆたかなふるさと
みんなのでつくろう
- 2 美しい 大代の緑
雲がとんでいる空
水がすんでいる川
豊かなゆたかなふるさと
みんなのでつくろう

感動しましたよ！

新春によせて

婦人会長 今田文子



明けましておめでとうございます。皆様 お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は婦人会活動にご支援頂きましたこと深く感謝いたします。

殊に町の行事、文化祭のパザー、農産物品評会は、町民の皆さまの多大なご協力により盛況に終える事が出来ました。当日の三中の吹奏楽部による、演奏には、とても感動いたしました。良かったですね。

さて一昨年新大田市が誕生して、婦人会も合併し、千百余名の大きな団体になりました。

今、環境問題の事が取り上げられており、昨年は出雲のエネルギーセンターの視察研修に行き、食べ物やサイクルの必要性を学びました。

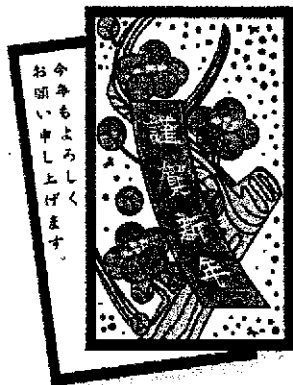
それとマイバック運動で、買い物に

は自分の袋を持参し、レジ袋をもらわないように心がけようと運動に協力致しました。

環境美化で出来る事として、石見银山世界遺産登録に向けて、四季の花をプランターに植えて、大森を中心に置こうと、夏はサルビアの花、秋は日日草、冬の今は葉牡丹が植えてあります。

それぞれの地域に根付いた活動をということで、大代婦人会では皆んなで年間の計画などを話し合い、各部の活動に取り組んで頑張っております。

ご家族の皆様、地域の方々のご支援・ご協力を今年もよろしくお願い致します。



新春によせて

明けまして

おめでとうございます

大代小学校校長 川神厚子

皆様、お揃いでよき年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、大代小学校に物心両面にわたり、温かいご理解・ご支援を賜り深く感謝しております。

さて、平成十八年は皆様にとつてどんな年だったでしょうか。都会は景気の回復基調にあるというのですが、この島根では実感はなく格差社会の拡大を感じたのは私だけでしょうか。

昨年を代表する漢字は「命」でしたが、子供たちを取り巻く環境も厳しく、いじめによる自殺や親の虐待等、「命」に関わる悲しい事件も多くなりました。また、島根県下一斉に学力調査も行われ、学力低下の問題が各地域や学校の大きな課題となっています。

大代小学校はわずか十八名の子どもたちですが、それぞれの持てる力を十分発揮し、運動面、文化面ともに大きな足跡を残してくれました。学力テストの結果も概ね良好であり、基礎学力はついていっていると確信しています。

連合運動会や体操大会でも大変活躍しました。特に体操大会では総合入賞者が四名もおり素晴らしい結果でし

た。

また、昨年十月二十四日に高山地区三小学校、一中学校と井田小学校を会場に県へき地教育研究大会（兼大田市学校教育研究大会）を開催しました。本校には約七十名の先生方をお迎えし、二つの授業を公開しました。どの授業でも子どもたちが積極的に活動し、お褒めの言葉をたくさんいただきました。今後も、小規模校の利点を生かし、子どもたちの能力を引き出すように、教職員一同、充実した支援をめざしたいと考えています。

健康にがんばろう

寿会会長 日向 良



昨年の十一月、病院の診察室で医師より一枚の紙片を手渡された。それは厚生労働省が二〇〇四年に初めて調査

した『メタボリック症候群』という聞き慣れない言葉の記事である。

それによると成人の有病者は約千三〇〇万人と推計されると、山陰中央新聞の読者なら目にされた方も居られると思うが、『メタボリック症候群』とはどんなものかを知る必要がある。

吾々の身体の内臓に蓄積された脂肪が一因となり高脂血症、高血圧、高血糖などを重複して発症する状態を指す疾患概念とある。

そして更に放置すれば脳卒中、心筋梗塞につながり糖尿などに進行する危険性がある。そして更に予備軍も千四〇〇万人とある。

読者の皆さん怖いですね。特に四十才から七十才代には男は二人に一人、女性では五人に一人としてある。

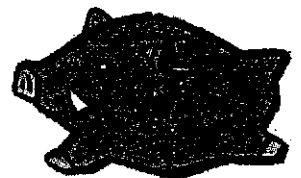
さてそこでこれを防ぐにはどうしたらよいか。今後は適度な運動とバランスの良い食事と禁煙に心がけ、楽しい老後を送りたいものですね。

小生は昨年の三月と四月にそれぞれ二週間の入院した経緯があり、今現在健康である事によるこびを感じている次第です。

新春のご挨拶

大田市消防団

大代分団長 坂本静雄



平成十九年の輝かしい、新春を迎え町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

又、平素から消防に対し多大なご理解とご協力を賜りますことに対し、改めてお礼申し上げます。

さて昨年は七月の集中豪雨により、この大代町にも、甚大な被害が発生しました。幸にして生命に異常が出なかったことに、一安心致しました。

しかしながら、世界各地によきせぬ大規模な災害が相次ぎ多くの尊い人命と、貴重な財産が奪われました。又、社会状況の変化の中、火災、その他の災害は、後を絶たず、特に住宅火災の死傷者は、全国的に後を絶たず苦慮し

ております。建築基準法が改正され、火災警報機設置の義務化という事もあるが、町民の皆様もご理解され、安心安全を確保する為にも火災報知器を取り付けて頂いているところです。

又、防火防災に深い関心をしめされ、この大代町も下市自治会、飯谷自治会、八反田自治会の自主防災会が出来、熱心に防災活動されている事に対しまして、深く敬意を表します。

大代分団としても、地域一体となり関係機関と、より一層の連携を深め、地域の安全と住民の安心を確保しつつ、町民の皆様の御支援、ご協力をいただきながら、団員の英知を結集し、今年も最大限の努力を傾けて参りたいと考えております。

終りに、皆様の御健勝、御多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も災害の少ない一年でありますよう、心から祈念申し上げます、新春のご挨拶いたします。

私の提案

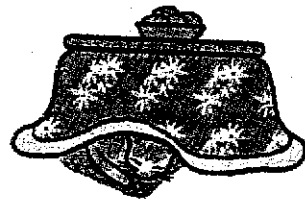
大代地区社会福祉協議

会長 高村 貢

明けましておめでとうございます。皆様にはいつも大代地区社協へご協力いただき有難うございます。今年もよろしくお願い致します。

ところで私の提案を一つ。

大代では話し合いが少ないと思います。私等が知る必要も無いかもしれないが、ある程度の概要ぐらいは町内の人が、知ってる必要があると思います。



元気な「まち」大代にむけて

高山の里直売所運営組合

組合長 横手新治郎

新年明けましておめでとうございます。輝かしい新年を迎えてと申しあげたいところですが、過疎地に住む我々には、そんな迎春とはいっししか縁がなくなつたような気がする昨今ではない

かと思ひます。

昨年7月には、昭和18年以来63年ぶりの豪雨災害がありました。「災害は忘れた頃にやってくる」吉田寅彦の名言そのものだったように思います。

さて、高山の里直売所は、大田市元気な町づくり推進事業として、16年7月に開店してから早2年半。1、2月は休業し、120日営業いたしました。日数で言う未だ1年にもなりませんので、これからの活動に真価が問われるところ。詳細につきましては、2月に総会を開催してご協議を致したいと思ひますが、昨年の状況と今年を取り組むべき方向性などについてお知らせ致します。

店で販売する商品では、飯谷の「水出の郷加工部」の皆さんが作られた「手作り豆腐」が毎回好評で、先日は、他町からわざわざ豆腐を買いに來られた方がありました。漬物などの加工品も色々工夫され、各自固有の味のものが出されるようになりました。

ふるさと小包は、11月から関西高山会の会員の皆さんにもお願いしましたところ、たくさん申込んだり、35名

の方へふるさとの味を発送しました。
アンケート葉書や電話で、つぎのよう
な感想を寄せていただきました。

◎柚子味噌は、大変おいしかったので
もう少し欲しい。

◎杵で搗いたよもぎ餅は、よもぎの香
りが良く、美味しかったので餅だけ
送ってほしいのですが。

◎十割手打ちそばは、昔を思い出させ
る味で、大変美味しかった。

◎ふるさと活性化のため、頑張つて頂
いていることへの感謝を込めて購入し
ています。などなど：

イベントについては、6月にはでき
たての「ちまき」の販売。7月の最初
の日曜日は開店記念祭、11月は収穫祭
として、杵で搗いたよもぎ餅の販売。
それぞれ大変好評をいただきました。

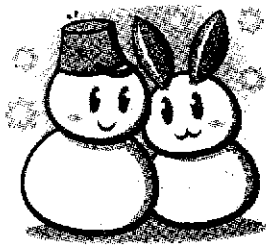
今年は、店に来て頂いて購入される
方と生産者が話し合える店づくり、商
品をもっとたくさん出していただける
仕組みづくり、懐かしい商品の復活な
ど試行させたいと思います。

直売所は地域で取れたものを地域で
消費する「地産地消運動」だけでなく、
食へること、生産すること、消費する

ことを通じて、地域文化を再確認した
り、新たな地域のコミュニティーづく
りについて議論したりする、地域活性
化の源だと思えます。

高齢化率大田市一番の大代町は、元
気な高齢者の多いのも大田市一番だと、
自負出来る町へと歩み出せたらと思
いますので、今年は更なるご支援、ご協
力をお願い致します。

末筆ながら、皆様のご多幸とご活躍
をお祈りし、真に喜べる豊かな年にな
りますよう祈念致しまして、年頭のご
挨拶と致します。



2月行事予定

* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *

▼6日(火) 出張申告相談

公民館にて午後1時30分から
午後4時30分まで

▼11日(日) 福祉弁当

▼18日(日) 大代幼・小PTA・
公民館合同研修会

「インターネット安心安全教室」
午後1時～子ども対象

午後2時～PTA・一般対象
▼23日(火) 連合自治会

お知らせ

○大代公民館より

大代婦人会より公民館にご寄付を頂
きました。厚くお礼申し上げます。

〓編集後記〓

今年はずかしいお正月でしたね。
皆様お健やかに新春をお迎えになられ
た事と思います。

年頭に毎年何かをしようといつも思
うのですが・・・今年はいノシシ年。

いノシシ年にあやかかって、何か一つ
でも突進していけるような事を見つけ
有意義な一年にしたいと思います。

一月で「ひろば大代」も三三〇号に
なりました。皆様が楽しみに待ってい
ただけるような紙面にしたいと思いま
す。皆様のご支援とご協力をよろしく
お願い致します。

(M)